

国際教養学部(英語) 問題解説

□■ 出題意図・評価方法・評価ポイント

- 〔Ⅰ〕 日本在住の外国人が文化の相違にまつわる自身の体験について書いたエッセイを読み、文章の概要を的確に読み解く力を問うている。外国と日本の文化の違いに違和感を感じた3つの事例（歯磨き、耳そうじ、体育の着替え）を取り上げ、それに対する自身の対応を文章から読み取り、理解しているかを確認する問題を出題している。
英訳問題では、徒に特殊な語法や単語の知識を問うのではなく、節の構文および複文構造という、英語の基本的な知識を実際に使えるかを試すことを主眼に置いている。内容説明の問題では、問題文の明快な論旨を捉え、筆者の行動の理由や感情を自分自身の言葉で説明する能力をみている。適語補充問題は、論理あるいは語調を手がかりにして、該当箇所にあるべき文はどのようなものかを判断する能力をみている。
- 〔Ⅱ〕 異分野のノウハウを組み合わせることによって、アクセスの悪い医療現場にドローンで必要な医療資材を迅速に届けて、多くの人命を救えるようになってきていることを紹介した雑誌記事である。何をどのようにして届けるのかを読み取ることができるかを確認するポイントを出題し、文章の細部を的確に把握しているかを問うている。
本文から抜き出す問題では、設立者たちの専門分野と、ドローンで輸送する医療資材を的確に把握することを求めている。言い換え問題は、この輸送のきっかけとなったデータを表わす簡潔な表現を探す問題である。和訳問題は、これまでなぜこのような救命が可能でなかったかを、構文を正確に理解して、明確な日本語に訳すものである。説明問題は、このような迅速な輸送を可能とする仕組みは何か、また配送上のどのような工夫によるものかを正確に理解する能力をみている。
- 〔Ⅲ〕 ケネディ大統領の幻のスピーチに関する新聞記事である。テクノロジーの発達に伴い可能となった声の再現技術により、どのようなことが実現しうるかを読み取り、文章の論理を的確に把握しているかを問うている。
説明問題は、文脈から因果関係を読み取ることができるか、声の再現技術の詳細について把握できているかを問う問題である。言い換え問題では、文章のつながりを理解し、本文に引用されているケネディ大統領の言葉が指し示す事象や、声の再現技術の恩恵を受けることが期待される人々について理解できているかをみている。英訳問題では比喩を用いた文章を適切な語彙、文章構成の英語で表現する能力を求めている。和訳問題では、事実と異なる過去の出来事を示す仮定法の用法を理解し、適切な日本語で表現できるかを問うている。